



稲沢ロータリークラブ週報

承認日：昭和38年(1963年)12月6日 会長：樋田文裕／副会長：川合正剛
 例会日：毎週水曜日 12：30～13：30 幹事：加藤太平／編集：広報会報委員会
 例会場：尾張大國霊神社(国府宮) E-mail rcinazawa@gmail.com
 稲沢市国府宮一丁目1番1号 URL <http://www.inazawa-rc.org/>
 事務所：〒492-8213 稲沢市高御堂1-2-1(林商事ビル1階)
 電話：0587-24-0740 FAX：0587-89-0265 事務局携帯電話 090-4853-5262



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 R I 会長
ホルガー・クナーケ

稲沢 RC2020-21 年度会長方針
「原点回帰」

本日の例会プログラム 第2751回例会 2021年3月10日(水)

例会場：尾張大國霊神社 幸福例会 会員表彰
 第2回準備理事及び第1回準備委員長会議(11：30～)
 第8回理事会(例会後)



©稲沢市いなッピー

第2750報告 2月17日(水)晴れ No.21

☆点 鐘☆	会長 樋田文裕
☆司 会☆	会場委員長 鈴木杏奈
☆唱 和☆	四つのテスト
☆ビジター☆	
☆会長挨拶☆	会長 樋田文裕



皆様こんにちは。本日も例会にご出席いただき、ありがとうございます。現在、愛知県の「緊急事態宣言」が延長されておりますが、できる限りの予防対策を行なった上で例会を開催させていただいております。ご理解のほど、よろしく願い申し上げます。

そして、先週ご案内をさせていただきました食事の件ですが、希望者の方には例会終了後に割り弁当を配布させていただきます。

今年の国府宮神社での饗迎神事の「神男」に当クラブ会員の山田典永君が、その重責を担うこととなりました。典永君より連絡がありまして、本日の例会にご挨拶に伺う予定でしたが、時間の調整ができず伺えないので皆さまに宜しくお伝えください、とのことでした。

そして、このご時世ですので会員の皆様には何卒お気遣いは為さいますようにと、念を押されましたので、間違いなくここでお伝えをいたしました。典永君には、コロナ禍の極めて厳

しい状況の中ですが、最後まで責務を全うしていただきますことを心より祈念致します。

それでは本日のお客様、というか本日の卓話をお願いしております、米山奨学生のロキヒさんです。奨学期間もあと1ヶ月程になりました。本日は、よろしく願い致します。

あらためてになりますが、ロキヒさんは、一昨年の4月より2年間、米山奨学生として当クラブが世話クラブとなってサポートをさせていただきました。クラブのカウンセラーとして、前半は吉川貴祥会員に、後半は伊藤正弘会員にお願いし、小島年度、山脇年度、そして私の年度と3年に跨りましたが、おふたりのカウンセラーにしっかりとその役割を果たしていただきましたこと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

この機会ですので、少し米山奨学についてお話しをさせていただきます。現在200カ国以上に存在するロータリークラブですが、この「米山奨学生」の制度は、日本独自のプログラムとなっております。1952年、東京ロータリークラブが、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する事業として「米山募金」の構想からはじまり、少しずつ全国に広まってゆきました。15年後の1967年に、「(財団法人)ロータリー米山記念奨学会」が設立され、今年で54年目をむかえることとなります。この事業は、全国のロータリアンの寄付金で運営されており、

★出席報告★ 報告者：会員組織委員長 山田典永

☆例会臨時変更通知☆

会員総数	44名	前々回修正	1月20日
出席	24名	出席	24名
会員数	(内免除者 5名)	会員数	(内免除者 1名)
欠席者数	20名	メークアップ数	3名
	(内免除者 6名)		
5出席率	63.16%	修正出席率	79.41%

クラブ名	月/日(曜日)時間	メークアップ会場

今週のメークアップ 足立三千夫 (IAC) 吉川貴祥、新井仁志 (B.D)

☆例会日程☆

3月17日(水)12：30	3月24日(水)12：30	3月31日(水)12：30	4月7日(水)12：30
イニシエーションスピーチ IAC例会(17：00)	IAC合同例会 活動報告 (例会後の清掃は中止)	会員祈祷	幸福例会 会員表彰 第9回理事会

年間の事業費は、約 13 億円 これまでに支援した学生は、約 20,000 人 出身国は、120 ヶ国以上にのぼっており、国内では民間最大の奨学事業となっております。当クラブも引き続き、新たに 4 月より米山奨学生を迎え入れ、来年の 3 月までサポートすることになっております。

そして、もう 1 点、2 月 4 日に警察庁が公表した、昨年の全国の刑法犯の件数が、前年比 17.9%、減少したとのことです。犯罪別で見ると、全体の 7 割弱を占める「窃盗犯」が 41 万 7 千件余りで (21.6%減)、空き巣などの「進入犯罪」も 21.9%減、ひったくりなどの「街頭犯罪」も 10%減で、全体では 6 年連続で戦後最少を更新したということです。減少した要因としては、コロナの感染拡大に伴う外出の自粛の影響が大きかったのと、昨今いたるところで見かける「防犯カメラ」などの対策強化が功を奏したようです。・・・が、裏を返せば、コロナが終息して日常に戻った場合、そういった犯罪もまた日常に戻ってしまう、ということになるのでしょうか。

といたしますのは、先日加藤市長に「サンタウオーク」に出席をしていただいたお礼に伺って話をしていたところ、前任の稲沢警察署長、吉田署長さんが「こんなに防犯カメラの少ない街は見えない」ということを言われた、ということです。実際、国府宮駅にも JR 稲沢駅にも「防犯カメラ」はありません。「防犯カメラが必要ないほど、この街は安全な街です」と言ってしまえばそれまでですが、先回の例会の挨拶で申し上げた「危機管理」の面からいけば「アウト」だと思います。「親睦」と「奉仕」がクラブ運営の 2 本柱であるとするならば、地域で求められる奉仕活動を積極的に取り組むことも必要であると思えます。「防犯カメラ」については、もう少し情報を集めて、前向きに取り組めるよう調整を図って参りたいと考えております。

最後になりますが、「ワクチン」の第 1 便が日本に届き、医療関係者への接種が本日より始まりました。トンネルの出口がわずかに見えてまいりました。「緊急事態宣言」の効果も数字に現れ出してきております。コロナ対策の勝利の方程式は、「マスクと手洗い」からの「三密を避ける」そして、守護神「ワクチン」に繋いでゆく、いよいよここからが正念場かと思えます。

会員の皆様、ご家族の皆様におかれましては、決して気の緩むことのないように出来る限りの「予防」と「自衛」をお願い申し上げて、挨拶とさせていただきます。

◆◆幹事報告◆◆ 幹事：加藤太平

◆次年度地区委員会に出向していただく方へ委嘱状が届きましたのでお渡しさせていただきます。

ポリプラス/職業研修チーム委員会 副委員長 永井伸治
インター外委員会 委員 林 茂一

◆◆ 会員組織委員会報告 ◆◆ 報告者：会員組織委員長 山田典永

○100%出席表彰者 (1 月末調べ)

服部 孝徳 9 年 6 ヶ月 加藤 健司 4 年
高桑 宏幸 5 年 林 茂一 3 年 6 ヶ月
吉川 貴祥 5 年 宮崎 忠広 2 年 6 ヶ月

親睦活動委員報告 ◆◆ 報告者：親睦活動委員長 新井仁志

○3 月の誕生日祝福

加藤 太平 11 日 池田 邦雄 20 日
岩佐 孝久 11 日 鬼頭 好信 22 日
金森 貴史 13 日

○会員夫人誕生日

後藤 貴浩 夫人 弥生 様 14 日
加藤 健司 夫人 裕子 様 21 日

○結婚記念日

後藤 啓行 9 日 児島 秀光 14 日

◆◆ ニコボックス報告 ◆◆ 報告者：ニコボックス委員長 山本敏裕

前月ニコボックス(くじ・花含む)	70,000 円
2020-21 年度 累計	664,500 円

鈴木 去年のハロウィンに入籍しました。月末から月の 1/3 だけ浜松に住みます。

(ニコボックス委員会より：大変多額に頂戴しました。おめでとうございます)

樋田 会員の山田典永君が神男に決まりました。頑張ってください。

樋田 米山奨学生、ロ・キヒさん、本日の卓話よろしくお願ひします。

加藤(太) 米山奨学生、呂輝菲さんの卓話を楽しみにしています。

加藤(太) 今日は例会場変更にもかかわらず、ご出席いただきありがとうございます。

宮崎 今日例会の皆様とお会い出来まして、よろしくお願ひします。

永井 今年も元気よく儺追神事に ご奉仕させていただきます。

川合 前回例会での結石の報告です。ゴマ粒大の石が 5~6 個も出てきました。

池田 横井さん、ありがとうございました。

成田 早退のお詫び

足立 ホームクラブ欠席のお詫び



◇◇これまでの留学の生活で得たものや、日本留学の成果などについて◇◇

米山奨学生 呂 輝菲

2019年4月ロータリー米山記念奨学会の奨学金に選ばれてから、もう直ぐ2年になりました。この期間中、稲沢ロータリークラブに大変お世話になりました。

昨年(2019年)の12月に、稲沢ロータリークラブが主催する「サンタウォーク in 稲沢 2020」というイベントに参加いたしました。当日、参加者の皆様と一緒にサンタクロースの服装を身につけながら、イベントに参加することができて嬉しかったです。さらに、このイベントを通して、厳しい環境下で働く医療従事者の方々へも感謝の気持ちを伝えることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。当日は私の誕生日でもありました。クラブから誕生日の祝いをいただきまして、家族のような暖かさを感じました。

また、昨年は新型コロナウイルスの関係で、他のクラブの奨学生と交流するチャンスがなくなってしまいましたが、米山記念奨学会により開催するイベントに積極的に参加いたしました。例えば、昨年(2019年)の12月に開催された合同忘年会です。当日、会長の樋田文裕様と、カウンセラーの伊藤正弘様もご来場いただきました。食事会の後の抽選会で景品をいただいた時は、とても嬉しかったです。そして、11月の学友会で、私は将来、教師になりたいというテーマでスピーチをしました。

次に、自分の留学成果について、2019年、台湾大学の国際研究発表会で発表する機会をいただきました。さらに、昨年、2本の論文が研究雑誌に掲載することも決定されました。ロータリー米山記念奨学会の奨学金のおかげで、経済的な面で支援もいただくことができ、自分の研究に専念する余裕ができました。

この期間中、カウンセラーの伊藤正弘様と2019年度のカウンセラーの吉川貴祥様はいつも熱心に助けてくださり、心より感謝申し上げます。米山奨学生はもう直ぐ終了となりますが、今後は感謝の気持ちを持ちながら恩返しして、社会奉仕活動に積極的に参加して、より一層努力し続けたいと思います。

サンタウォーク in 稲沢 2020



2020年9月 第24回米山奨学生学友会(愛知)総会
2020年11月 2020-21年度米山奨学生・学友合同交流会
2020年12月 2020-21年度米山奨学生学友合同忘年会



留学成果

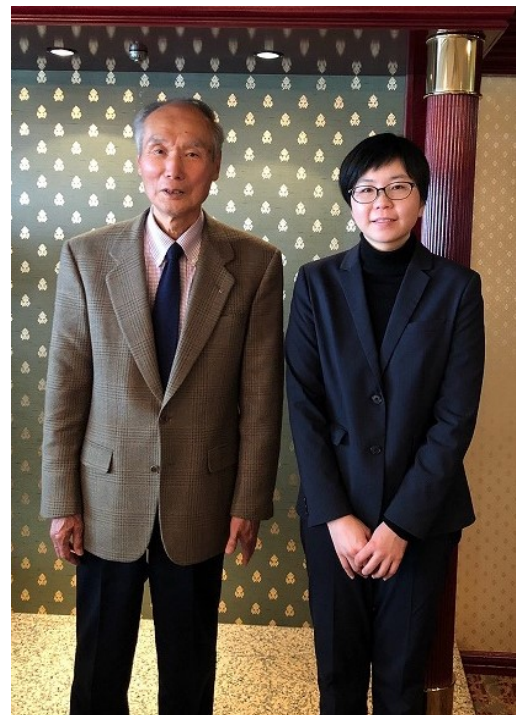
- 研究発表: 2019年11月2日『『女学生旅行記』における女学生描写: その「近代」認識を中心に』、第四回東アジア日本研究者協議会国際学術大会(台湾大学)
- 研究論文: 『曼陀『滑稽小説 女学生旅行記』における女学生描写: 明治日本の『滑稽女学生旅行』の比較を中心に』、『野草』第105号、76-97頁
- 『末広鉄腸『暁の旅行』に関する一考察: 中国語訳『暁旅行』との比較を中心に』、『名古屋大学人文学フォーラム』第4号(掲載決定)



第四回東アジア日本研究者協議会国際学術大会(台湾大学)



『野草』第105号



静寂の境内 異例ずくめ



鉄鉾会の会員らとともに参道を歩く神男(中央)＝稲沢市の国府宮で

国府宮はだか祭

新型コロナウイルスの影響で裸男のもみ合いがなくなった境内は、静かだった。稲沢市の尾張大國靈神社(国府宮)で二十四日あった「国府宮はだか祭」(儼追神事)。着衣でのササ奉納、参拝者の減少…。伝統を受け継ぐ熱い思いを胸に、関係者は異例ずくめの祭りの日を迎えた。

(牧野良実、鈴木里奈)

裸男のもみ合いが、昭和天皇が崩御した一九八九年以来、二度目の中止になった今年のはだか祭。その時とほぼ同様の形式で儼負人(神男)らによる厄払い行列が実施され、例年の喧嘩から一転、厳かな雰囲気になりました。

コロナウイルスの感染リスクを減らすため、主役の神男は、祭りの流れを知る歴代の経験者が志願。くじで選ばれた山田典永さん(三〇)＝稲沢市船橋町Ⅱが二〇〇〇年に続いて二度目の神男を務めた。

狩衣に烏帽子姿の山田さんは、午後三時五十一分に拝殿から登場。神職と、歴代の神

厳かに厄払い行列

男経験者でつくる「鉄鉾会」の会員と行列を組み、太鼓が鳴り響く中、表情を変えずに黙々と参道を歩いた。行列の周囲には、手桶隊が加わり、山田さんらを警護した。

山田さんらその後、参道で

狩衣を脱がされ、両脇を抱えられて捕らわれた姿に。鉄鉾

会員らはやりやなたを持ち、儼負捕りを再現した。近くに

住む松本昂樹さん(三〇)は「初めて見る形式で、祭りの起源を知ることができた」と振り返った。

「儼負捕り」も再現

登場から十四分後、山田さんが儼追殿に到着すると、参列者からパンザイが起こった。同市平野町のバート松井聖子さん(四七)は「逆に新鮮で一年の記念になる。来年は裸男のわっしょいが聞きたい」と期待した。

到着後には、山田さんに触れて厄を託す機会もあった。

毎年裸男として参加している清須市の男性会社員(三七)は「厄を背負ってもらって、早くコロナが収束してほしい」と山田さんの手を力強く握った。

女性も「儼追笹」奉納

奉納時に「わっしょい、けしよい」の勇ましい掛け声で、祭りを盛り上げてきた儼追笹。今年は、各地



服を着て儼追笹を奉納する人ら（稲沢市の国府宮で）

区ともスーツや私服姿の代表者らが静かに参道を歩いた。ササには結ばず、布だけ奉納する地区も目立った。

ササには、祭りに出られない女性やお年寄りが厄よけの願いを書いた布が結び付けられている。例年は祭りに先立ち、各地区の裸男がササを担ぎ、公道や参道を練り歩いて奉納するが、今年は裸や大人数での奉納を中止した。

例年は六十人ほどが参加する稲沢市矢合地区は、三人が小さなササ一本と大サカキを持って整然と奉納。代表で訪れた水井祐也さん（60）は「寂しい感じ。来年はいつも通り地域一丸となつて奉納したい」と話した。

盛り上がりを欠く一方、女性が奉納に参加する珍しい光景も。同市小池正明寺地区は、子どもたち五十人が地域を代表して奉納。初

めてササを拍いた小正小五（今年今枝桃さん）は「はったけど、女子も参加できなかった」と声を弾ませた。

参拝者ら

「さみしい」

「見て、このガラガラ」は静かで、参拝者や付近の「考えられんね」…。もみ合いが中止になった今年の国府宮はだか祭。例年なら裸男でひしめく境内や参道



●神男と握手する人ら ●厚い行列を見る人たち（いずれも稲沢市の国府宮で）



羽子子さん（60）は「こんなに空いているのは初めて。さみしいけど、無事に終わるといいね」とほつり。国府宮によると、露店の数も例年の三分の一ほどだったという。

祭りの見どころがなくなり、午前中で帰路につく人も多かった。あま市の主婦、甲斐佳代さん（30）は娘の心和ちゃん（3）と訪れた。「儼追神事はやれてよかった」と笑顔を見せつつ、「もみ合いがないので、もう帰ります」と話した。

裸男の勇姿を収めてきたカメラマンたちも、普段と違う光景に戸惑った様子。毎年、東海市から撮影に来ている大野宣隆さん（60）は「何がシャッターチャンスか分からないね」と不安げだった。

市外や海外からやってくる地縁のない裸男たちに、着替えの場を提供するビジネスホテル「和陽館」（稲沢市長野）も、全ての予約がキャンセルに。「少しでも集まれる場所を」と、この日は客室を開放した。酒井章治社長（60）は「一番さみしいのは参加していた裸男本人たち。来年はやれるでしょ」と期待を込めて話した。



愛知県稲沢市の尾張大國靈神社(国府宮)で二十四日、天下の奇祭「国府宮はだか祭」があった。名物の裸男によるもみ合いは、新型コロナウイルスの影響で中止に。「裸なし」の異例の形となり、代わりに着衣で厄払い行列を実施した。

捕らわれた姿で参道を行列する神男の山田典永さん(中央)ら=24日午後、愛知県稲沢市の国府宮で

はだか祭「裸なし」 国府宮、中止は2度目

が激しくもみ合い、主役の儼負人(神男)に触れて厄を託すが、今年には密を避けるために中止した。代替として、約五十年前まで、その年の恵方の村落で村人らを捕まえて神男に仕立てていた「儼負捕り」を模した行列を実施した。

この日は、神男の山田典永さん(至三)同市船橋町と神職らが順番に境内の拝殿から登場。約七十人の行列になって参道を歩いた。その後、神男は上に着ていた装束を脱がされ、白い着物姿に。二人に両脇を抱えられ、儼負捕りを再現した。

国府宮によると、参拝者は昨年より十四万人少ない約六万人。もみ合いの中止は、昭和天皇が崩御した一九八九年に続いて二度目で、その時もほぼ同様の行列で代替した。(牧野良実)



2021.2.26 (第3種郵便物認可)
両脇を抱えられ、境内の外に追い出される神男の山田典永さん=いずれも稲沢市の尾張大國靈神社で



厄封じ 願いを一身に

国府宮はだか祭(儼負神事)が行われた稲沢市の尾張大國靈神社(国府宮)で二十五日、祭りの主役・儼負人(神男)に託された厄を封じる「夜儼追神事」があった。(牧野良実)

はだか祭 夜儼追神事

奈良時代の七六七年から途切れることなく続くこと、祭りの中心となる神事。周囲が静まる中、午前二時すぎ、神男を務めた山田典永さん(至三)同市船橋町が境内の庁舎に登場。神職が国家安穩や厄災退散を祈願した。

神男はその後、厄災をつき込んだ土餅と人形を背負い、神男経験者に両脇を抱えられて境内の外へ。追い出される神男に向け、参拝者は桃と柳の小枝を紙で包んだ「ついで」を投げ付け、厄を払った。

土餅は途中で捨られ、神職が神社外の土の中に埋めて厄を封じ込めた。ついで

大鏡餅求め参拝者が列

では燃やして灰にし、来年の土餅につき込む。朝からは、大鏡餅の餅切りが拝殿であった。神職や餅を奉納した尾西奉賛会(一宮市)の役員らが餅の上に乗る、「よいしょ」の掛け声に合わせてなたと金づちで切れ目を入れた。

餅は切り分け、参拝者に一個目まで授けず。食べると夏に病気になるいと言われ、朝から参拝者が列をついて求めていた。



なたと金づちで大鏡餅に切れ目を入れる神職